

早稲田大学 人間科学部 日本史 講評

出題形式	マーク式
試験時間	60分
特徴・その他	大問数5題、小問数42問、すべて選択問題で例年通り。内訳は正誤21問・語句選択14問・年代配列3問・語句や文の組み合わせ4問。これまでであった2つ選ぶ形式が消えた。該当なしの場合カをマークする形式は2018年度14問、2019年度8問、2020年度10問で、今年度は15問と増加した。時代別では例年通り、古代・中世・近世・近現代・全時代にまたがるテーマ史の5題で、全時代から満遍なく出題されている。戦後史からの出題は2019年度5問、2020年度1問で、今年度は3問出された。分野別では、2016年度以降6年連続で政治史と文化史で8割前後となっている。大問5題中史料問題は今年度は2題だった。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	古代の難波	問1:イが正しい。ア…かまどと炉が逆、ウ…京内には庶民や下級官人も住んでいる、エ…国司ではなく里長、オ…庶民の歌も含まれる。 問2:アが正しい。イ…世界遺産に登録されている、ウ上毛野ではなく吉備、エ…「仁徳」は後代に命名された、オ…倭王武は雄略天皇。 問3:エが誤り。ブナやナラは落葉広葉樹林。問4:オが正しい。Ⅲは737年→Ⅳ・Ⅰは740年→Ⅱは743年。広嗣の乱後に恭仁京遷都。問5:オが誤り。班田収授は庚午年籍・庚寅年籍といった戸籍が作成されてから実施されたと考えられている。問6:イが正しい。問7:オが正しい。ア…桓武天皇は光仁天皇と高野新笠の子、イ…百川ではなく種継、ウ…紫香楽宮の東方に都はない、エ…隠岐ではなく淡路。 問8:イが誤り。瀬戸内海に面していれば唐・新羅に侵攻されやすい。	標準
II	鎌倉時代の訴訟 <史料>	問1:オが正解。「三問三答」はやや難。問2:ウが正しい。空欄2がやや難。問3:エが正解。「十三湊」は青森県。問4:イが正解。問5:ウが正しい。ア…51カ条、イ…公家社会ではなく武家社会、エ…女人養子は律令法では許可していない、オ…室町幕府も御成敗式目を基本法典とした。問6:カが正解。評定衆設置は北条泰時。問7:アが正解。幕府の裁判の判決を強制執行する権限は「使節遵行」。問8:イが誤り。荘園領主と地頭が逆。	標準
III	江戸幕府による統治	問1:エが誤り。家綱ではなく家光。問2:アが正しい。Ⅰは元和令→Ⅱは寛永令→Ⅲは天和令。問3:エが正しい。ア…御家人は将軍に謁見できない、イ…三奉行のうちの寺社奉行は譜代大名が就任、ウ…大目付ではなく目付、オ…京都所司代は二条城代を兼ねていない。 問4:ウが正しい。ア…駿府ではなく伏見城、イ…大坂冬の陣の説明、エ…400万石ではなく220万石、オ…家康死去は1616年のため、征夷大將軍就任の1603年直後ではない。問5:カが正解。すべて豊臣政権の大老。問6:ウが正しい。問7:イが正しい。ア…勘定吟味役ではなく勘定奉行、ウ…江戸町奉行は江戸全体を南北の町奉行が月番交代で勤務、エ…城代は旗本が任命される、オ…博多は幕府直轄地ではない。オの正誤判断は難しいので正文としてイを選びたい。問8:オが誤り。大名の妻子の帰国が認められたのは幕末になってから。	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
IV	立憲政治と憲法	問1:オが誤り。秋月の乱ではなく萩の乱。問2:アが正解。問3:イが正しい。Ⅰは1875年→Ⅲは1877年→Ⅱは1878年。問4:オが正解。問5:イが正解。問6:カが正解。「寺内正毅」が正しい。問7:オが正しい。ア…立憲改進黨は大隈重信が組織、イ…立憲自由党は戦後に鳩山一郎が組織、ウ…尾崎行雄は立憲政友会、エ…立憲民政党ではなく立憲政友会。問8:ウが誤り。斎藤実ではなく岡田啓介。問9:エが誤り。大塚久雄ではなく高野岩三郎。問10:エが正解。	やや易
V	原始～戦後の社会事業・社会福祉 <史料>	問1:エが正解。祇園祭は平安時代に御霊信仰から生まれた。問2:オが正しい。光明皇后は悲田院・施薬院を設置した。問3:イが正しい。足利義持は日明貿易中止した。ウ…7代義勝、エ・オ…6代義教。問4:ウが誤り。大坂ではなく京都。問5:エが正しい。ア…高島炭鉦は後藤象二郎ののち三菱、イ…三池炭鉦は三井、ウ…佐渡金山は三菱、オ…阿仁銅山は院内银山と同じく古河。問6:ウが正しい。15人・15歳・12時間の組み合わせ。問7:イが誤り。農商務省ではなく内務省。問8:オが正解。美濃部亮吉は革新首長の一人。	標準

[総合コメント]

難問の多かった2015度をピークに年々易化が進み、近年は標準レベルに落ち着いたよう。第V問は史料を用いた全時代にまたがるテーマ史で、「社会事業・社会福祉」(今年度)。「子ども」(2020年度)、「自然環境と人間の関係」(2019年度)、「外国人による日本に関する記録」(2018年度)、「宗教」(2017年度)、「衣服の歴史」(2016度)、「民衆の厳しい生活状況」(2015年度)、「日本の食」(2014年度)、「女性の位置づけや権利」(2013年度)、「外国人の目から見た日本」(2012年度)、「情報とメディアの歴史」(2011年度)とテーマは多様性に富んでいる。史料問題は読解力を問われる時もあるが、今年度は読解問題はなかった。基礎力を充実させておけば高得点を取ることは可能であるが、全体の半分以上を正誤問題が占め熟読を要するため、試験時間にそう余裕はないであろう。